



『年頭のご挨拶』

中部電力株式会社

常務執行役員 静岡支店長

伊 出 俊一郎

明けましておめでとうございます。

貴組合員の皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで明るい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、弊社の事業運営に、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

はじめに、エネルギー事業を取り巻く環境は、一昨年の電力小売全面自由化に続き、昨年4月にはガス小売全面自由化がスタートするなど大きな変化の中にあります。弊社においても、静岡県東部を含む首都圏で、競争力のある電力メニューを設定、あるいは名古屋地区においてはガス小売に参入するなど新たな販売領域への事業拡大を目指しています。

また、昨年10月には、テレビCMなどでお馴染みの「中部電力はじめる部」から「ナルホド！中電」へプロモーションフレームをリニューアルするとともに、ウェブサービス「カテエネ」を軸として、これまで以上にお客さまにご満足いただけるようなサービスを展開しております。

これからも、電力・ガス販売において、お客さまのご期待を超えるサービスを他社に先駆けてお届けすることで、引き続き、お客さまからお選びいただけるよう努めてまいります。

次に、浜岡原子力発電所につきましては、安全性向上のための取組みとして、福島第一原子力発電所のような事故を二度と起こさないという固い決意のもと、「設備対策の強化」や「現場対応力の強化」に全力で取り組んでおります。現在、3号機、4号機に関し安全対策工事を進めるとともに

原子力規制委員会による新規制基準に基づく適合性確認審査を受けているところであり、今後とも、審査対応や安全性向上のための取組みを着実に進めてまいります。

また、併せて、国・自治体との連携、他電力会社との相互技術協力体制の強化、ならびに地域の皆さまをはじめ広く社会の皆さまにご理解いただくための丁寧なご説明などにつきましても、引き続き、真摯に取り組んでまいります。

さて、昨年は、8月に関西電力管内の大阪府内において地中送電線ケーブルの事故による広域停電が発生いたしました。弊社からは静岡支店も含め、高圧発電機車20台、要員131名を派遣しての応援を行いました。また、10月には、台風21号により、弊社エリア全域で数多くの停電が発生した中、当支店管内の早期復旧対応はもとより、最も被害の大きかった長野支店管内へも出向し復旧応援にあたりました。

こうした一連の対応を通じ、お客さまへの電力の安定供給と早期復旧の重要性を改めて認識したところです。弊社といたしましては、引き続き、公益的使命を果たすべく、地道な取組みと研鑽を重ねてまいります。

お客さまに電気を安全かつ安定的にお届けし安心してお使いいただくためには、弊社の供給設備とお客さまの内線設備が共に的確かつ高品質に構築され、相互に繋がることが不可欠です。弊社といたしましては、お客さまの内線設備の構築などに従事される貴組合の皆さまとは、共に電気設備を構築するよきパートナーとして、しっかり連携しつつ、電力の安定供給に向けて邁進してまいりたいと存じますので、本年も、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、貴組合の益々のご発展と皆さまのご健勝を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。